



(公社) 岐阜県理学療法士会 広報誌

<http://gifu-pt.jp/>

2018
No.127

らいちょう

第 39 回

ぎふ市民健康まつり

2018.11.4



目次

巻頭言

「第 29 回岐阜県理学療法学会」

..... 2

各部・委員会からの報告 3

会員の声 6

賛助広告 8

賛助会員 11

第 29 回岐阜県理学療法学会

第 29 回岐阜県理学療法学会

学会長 岸 本 泰 樹

第 29 回岐阜県理学療法学会、学会長の岸本泰樹でございます。今年度の開催地は各務原市。飛行機やニンジンで有名な県内有数の工業都市での開催は、今回が初めてとなります。高速のインターも近く、皆様が集まりやすい場所と言えるのではないのでしょうか。本学会も 29 回目を迎え歴史の重みを感じます。我々の大先輩の先生方に聞くと、かつては演題が集まらず苦労した時期もあったようです。しかしながら今回、昨年の下呂大会からの勢いがそのまま引き継がれ、ありがたいことに演題エントリー数が過去最多となっております。これは皆様の日々の努力が、あらゆる形で常に発展していることの表れであり、大変嬉しく思っています。今大会が我々セラピストの誇りを、より輝かせる大きな舞台になることを願って止みません。

さて今回のテーマに「地域包括ケアシステムを牽引する！」とあります。私たちが地域社会に顔向けすることは、昨今ではすっかり当たり前になって参りました。関係者を招いた退院時カンファレンスや、ケアマネジャーが招集する担当者会議、地域のサロン活動、地域ケア会議への出席…等々、ご活躍の先生方も増えてきております。皆様は「ワインオープナー理論」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。ビジネス用語では「ボトルネック」などとも言われるこの表現。物事には「肝心かなめ」とされる部分があり、そこがうまくいかないと全部がダメ、という実にシビアな現実を説明する時に用いられます。仮に我々をワインの醸造家に例えてみましょう。これまで私たちは、長い間培った専門職としての知識や経験で、リハビリテーションという良質なワインを作り続けてきました。それは今も昔も変わりません。我々の生業としての役目を考えると、これまではこれで良かったのです…。しかし…今や時代は変わりました。ボトルに詰まった知識や経験は、障害を持った個人だけではなく社会を動かす要素になりました。これにより私たちに強く求められていることが次第に明確になってきました。例えばそれは、「理学療法が社会の仕組みの大切な一部であることをもっと進言し態度で表すこと」であり、またそれを「国民の日常生活の最期にまで責任を持って届けきる」ことでもあります。こうしたことは容易なようでなかなか難しい課題です。

目の前に「職人の技が詰まった」高級で味わい深いワインボトルが一本。あなたは為政者の前でそのコルクを上手に開けられますか？極上の中身を地域住民が満足するよう振る舞えますか？…我々は単なるマエストロ集団ではないはずです。これからまだまだ学ぶべきことが多そうですね…。今学会ではそんな「理学療法のソムリエ」が多く生まれることを期待しています。

今年度の開催日は 2 月 17 日です。例年より 1 ヶ月早い開催ですのでお間違えなく。



厚生部より

厚生部では会員の皆様の福利厚生で、ご結婚の際にカタログギフトを贈呈しています。

※結婚届を申請する場合は、連絡のとれる電話番号の記載をお願いしています。

何らかの確認でお電話を差し上げることがありますので、必ず連絡のとれる番号をご記入願います。058 - 276 - 7755 から番号通知しておかけします。ご協力をお願い致します。

厚生部では、下記の内容を実施しております。

- 1) 災害見舞金 会長の判断による。
- 2) 結婚のお祝い 会員の結婚に際しお祝いの品を贈る
(本人または他会員の申請による)
- 3) 弔電 会員の両親、配偶者、子供死亡の場合は弔電。
会員外は会長が認めた場合。
- 4) 供花 会員本人に不幸があった場合、供花を供える。
- 5) イベント助成 会員有志によるスポーツ大会・文化交流会などの助成。

上記以外にもご意見・要望、不明な点がございましたらご連絡ください。

連絡先

〒500 - 8288 岐阜県岐阜市中鶯2丁目99番地
TEL 058 - 276 - 7755 FAX 058 - 276 - 7733

介護老人保健施設 喜の里
名和 敏晃

平成 30 年度 高校生 理学療法・作業療法・ 言語聴覚療法一日体験

理学療法週間事業部

近石病院

富 田 純 也

今年度も岐阜県理学療法士会・作業療法士会・言語聴覚士会協同事業として、8月7日（火）から9日（木）の3日間において高校生リハビリ一日体験を開催致しました。

本年度は 126 名の高校生に、県内 32 施設にて体験していただきました。

（126 名うち 3 年生 52 %、2 年生 35 %、1 年生 12 % 男性 26 %女性 74 %）

高校生リハビリ一日体験の申し込み時の志望動機として、「私は将来理学療法士になりたいと思っています。そのためどのような仕事をしているかを実際に見て、体験したいと思ったから」「部活をやっている整形外科などで理学療法士さんにとってもお世話になり、自分も将来理学療法士になってスポーツをやっている人などを助けたいと思った為、今回体験したいと思った」など、将来を見据えて、参加希望している生徒が多いと感じました。

体験後のアンケート調査では、「実際にリハビリ室でリハビリをしている人を見学できたことが良かった」、「実際の現場を見学することができて、しっかりとイメージを持つことができた。体験したことで足が不自由な人の気持ちが少しだけわかった」「どのような職業なのかが改めてわかり、将来やりたいなと思うことが出来た、詳しく丁寧に教えてくださったのでよりもっと知りたいと思えた」など、より具体的な仕事内容を見学・体験でき、現場の雰囲気も感じる事ができたとの意見が多くありました。

さらに進路に関するアンケート調査では、「今回の体験は進路の検討に役立ちますか」の問いに対して、「大いに役立った」との意見が 94.9 %、また「今後リハビリテーションに関する養成校を受験する予定はありますか」の問いでは、「受験する」51.5 %、「検討中」43.4 %でした。

参加希望者や体験後のアンケート調査より、3 年生だけではなく 1 年生からすでにリハビリ職に対

しての興味があることが把握でき、改めて啓発活動の重要性を感じました。毎年実施している高校生リハビリ一日体験が、高校生の進路決定の一助になっているものと考えております。

今回の開催にあたりご協力いただきました施設や関係者の皆様に心より御礼申し上げます。



< 会 員 の 声 >

余 暇 活 動

医療法人 清風会
林クリニック

伊 藤 和 記

市の消防団に入団して2年目となります。消防団といっても、消火活動を行うわけではなく、消防団所属の音楽分団に所属しています。主な活動内容は、地域の消防関連行事（出初式や操法大会など）の際に演奏を行うことです。その他にも、市のイベントや文化祭などに参加し演奏することもあります。

音楽分団では、学生のクラブ活動など、何らかの形で音楽経験がある人が参加していますが、私の場合、音楽経験は全くありませんでした。社会人になり、地域貢献の一環として消防団に入ることを勧められ入団を決意しました。しかし、勤務先が遠方のため、実際に継続して活動ができるかという不安もあり、災害対応等にあたる分団ではなく、音楽分団を選んだのが入団したきっかけです。音楽経験の全くない状態でのスタートだったので、不安はありましたが、周りの方々の指導や協力もあり、なんとか活動に励むことができています。演奏している楽器はドラムセットですが、こちらを選んだ理由も「カッコよさそう」という安易な理由です。ただ、やるからにはしっかりやろうと思い、ドラム教室に通い、日々訓練しています。ドラムには、曲全体のリズムの基準を作る役割があるため、合奏においてはとても重要な楽器です。他の奏者と調和をとることが難しく、思い通りの演奏ができないこともあります。うまく演奏できた時はそれぞれの楽器の音色が混ざり合う様子を感ずることができ、本当に気持ちが良いものです。

音楽分団は、主に消防団での活動が中心ですが、地域のデイサービスなどへ訪問し、ボランティアで演奏することもあります。その際は、高齢者の方が分かりやすいように演歌などを選んで演奏しています。高齢者の方々は、音楽に合わせて手拍子をしたり、口ずさんだりして楽しみながら聴いて下さいます。演奏する側としては、聴き手に満足してもら

ことは何より嬉しいことです。

行事が多い時期は、仕事と消防団活動を両立しなければならず、忙しくなります。しかし、演奏活動を通して音楽というこれまでになかった経験や、消防団の方々との新たなつながりを得ることができました。これらの経験が自分への自信につながり、仕事においても意欲が向上しているのを感じます。

気分転換や新たな挑戦など、目的はそれぞれ違っても、こういった余暇の充実が生活を豊かにすると実感しています。

介護老人保健施設に異動して

医療法人和光会

介護老人保健施設寺田ガーデン

織 田 朝 巳

私は平成28年に平成医療短期大学を卒業後、医療法人和光会 山田病院にて勤務を開始しました。回復期リハビリ病棟にて、患者様一人に対して最大9単位のリハビリを行い、機能回復・在宅復帰に努めました。

回復期での臨床経験後、今年度の6月より法人内の介護老人保健施設寺田ガーデンに異動することとなりました。老健では利用者様に対して20～40分程のリハビリ提供時間となり、入所の利用者様には在宅復帰を目指したりリハビリ提供を実施し、通所リハビリの利用者様に対しては在宅生活で目標を持って過ごせる為のリハビリやQOLの向上を目的に取り組んでいます。また、今年度より介護、診療報酬の同時改定によるリハビリマネジメントの知識や、介護保険に対する基礎知識、地域包括ケアシステムについて等、分からないことが多々ありますが日々勉強しながら業務に励んでいます。

老健に異動し私が感じた事として、細かく詳しい在宅環境を想定したADL訓練がその後の生活に大きく関わってくることや、ケアマネージャーや訪問介護・訪問看護と他職種連携を頻繁に行い、情報提供を行っていくことが利用者様の在宅生活での危険を未然に防ぐことなど、病棟でのリハビリに比べると介入時間が少ない為、自主トレーニングや生活リハビリなどで運動時間を確保する必要があり、そ

ここでは看護・介護スタッフとの連携が必要不可欠になってきます。更に在宅での動作確認のための自宅訪問や、ケアマネージャーや家族に対しての介護サービス内容の詳しい提案など、自らで自由な展開する事が出来ること、利用者様のH O P Eの実現やQ O Lを向上させる（例：就労支援に対する取り組みや自動車運転を行う為の支援、旅行に行く為の支援）為に補助具の提案やリハビリを具体的に行う事が必要になってくることを学びました。現在、私の担当利用者様で在宅復帰後に家族と旅行に行きたいと希望されている利用者様がいらっしゃいます。現在は機能訓練中心にリハビリを進めておりますが、今後、利用者様の旅行に行きたいというH O P Eに対して、旅行に行く際の移動形態や具体的な日時や場所、旅行先の住居環境や具体的な旅行のプランなど細かく検討していこうと考えております。

今後も介護保険分野に対しての知識を深めていきながら利用者様の在宅復帰に対して支援していきたいです。

小さな後悔

恵那医院

佐々木 初 音

私には欠点が多い。忘れっぽさ、「N o」と言えない八方美人、面倒くさがり、そして特に物事の取り掛かりの遅さは自分でも呆れるほどだ。

小学生の頃、夏休みの宿題には日付が記載されていた。母親の監視の元、遅れることなく毎日こなしていた記憶がある。ところが中学・高校に上がると夏休みは部活動や友人との外出を優先するようになった。夏休み最終日は決まって泣きながら苦手の教科のテキストを夜中に赤ペンで埋めていた。それでも反省することなく冬休み、春休み、そして翌年の夏休みと最終日に作業を繰り返していた。そんな私でも先日、反省するような出来事があった。

私は高齢者を対象としたリハビリをすることが多い。自分の祖父母と変わらぬ年齢の方々は一人暮らしをしている私をととても気遣ってくださる。「ご飯は毎日しっかり食べているか」「風邪はひいていないか」「実家には帰る事が出来ているのか」と、声

をかけていただく。そんな中でもお野菜を頂いたり、お菓子を頂いたりする事もあり、先日は栗を頂く機会があった。以前祖母に「栗は拾って来たら水に浸けておきなさい」と聞いたことがあった。実際は皮の剥きやすさ等の理由らしいが、栗は虫がついている事が多く、その為だと言っていた気がする。栗自体扱った事のない面倒くさがりな私がそれから煮たり皮を剥いたりとした事がある訳がない。しかし、「N o」とは言えない私は結局それを頂く事になった。マンションへと帰宅して取り敢えず栗の入った袋をキッチン横に置き、お風呂に入ったリ夕飯を食べていれば栗の事など忘れてしまった。

一週間経ってから目を背けていた袋の存在に意を決し、それを開けてみると穴の開いた栗も混じっていた。私はそれと無事な物を分けようと床に栗を広げ、無事な物は別の袋に入れ、穴の開いた栗は処分する事にした。事件が起こったのは翌日仕事から帰って来てからだ。帰宅してリュックを降すと床に散らばる白い粒が視界に入った。ごみだろうとしゃがみこめば茶色い丸が混じっている。そして少し触ると動く。

虫だ。

恐らく栗を床に広げた際に出て来たのだろう。慌ててティッシュで回収し、無残ではあるが潰してゴミ箱へ。やっと片付いたと思ったのも束の間。翌日無事であったはずの栗が入った袋を強行突破して再び虫が床に転がっていた。結局私は袋を三重にして段ボールへと封印し、ごみの日を待つ事となった。

もう二度と後回しにはしない、そう決心しながら後回しにしていたこの原稿を作成している。きっと一生自分に呆れながら過ごしていくのだろうと改めて感じる事となった。

私が理学療法士!?

医療法人 悠信会

介護老人保健施設 ラポール

鳥 居 沙 葵

1年前、実習や国家試験勉強に追い込まれていた学生だった私が、理学療法士として働き始めてもう半年が過ぎようとしています。今回、会員の声とい

うことで投稿依頼を頂き、この機会を生かし自分自身を見つめ直して思うことを書かせて頂こうと思います。

入職当初、私は理学療法士になったという実感があまり持てず、実習の延長線のような感覚でした。そんな私に、「先生、ありがとう。会うと元気になれるし、治ってまう。先生はいい先生になるよ。」などご利用者様から声をかけて頂き、本当に嬉しく感じました。その反面、新人でもご利用者様からすると先生ということに変わりがなく、頼りにされている存在だということに改めて気付きました。この出来事をきっかけに、理学療法士になったという自覚をより一層持ち、真摯に向き合っていかなければと痛感しました。

「ご利用者様と少しでも長く関わり、一人一人の方に合った治療方法を考え、優しく寄り添って治療ができる理学療法士になる」というのが私が目指している姿です。現在、私は通所リハビリテーションでの業務を担当しております。通所リハビリテーションのご利用者様は、在宅生活を起点としている為、身体機能の維持・向上を図り、ご自宅での困難

な動作や今後やってみたいことを療法士が知り、介入していくことが大切だと感じています。ですが、現段階では私が未熟なため、ご自宅に伺って開催するリハビリテーション会議の際に、ご本人様・ご家族様の求めていることを上手く聞き出せず、その方に合った治療法に戸惑い、悩むことがあります。そんな私に、リハビリスタッフの先輩や他のスタッフが、無理しないように声を掛けて下さったり、業務のフォローや相談に乗ってアドバイスをして下さいすることでやっと働くことが出来ていると感じています。今後は、支えて下さる周りのスタッフへの感謝の気持ちを忘れずに、理学療法士としてのスキルと人間性、コミュニケーション能力を磨いていきたいです。

そして、どんな時も寄り添った対応ができ、信頼される理学療法士になります！



H29 賛 助 会 員

会 社 名 ・ 施 設 名	電 話 番 号
有限会社 加納ビジネス 〒 500-8456 岐阜県岐阜市加納大黒町 2 - 32	TEL 058-273-3007 (代)
有限会社 中部義肢 〒 486-0911 愛知県春日井市西高山町 3 丁目 16 - 12	TEL 0568-34-7143
岐阜保健短期大学 〒 500-8281 岐阜県岐阜市東鶉 2 丁目 92 番地	TEL 058-274-5001
東名ブレース株式会社 〒 489-0979 愛知県瀬戸市坊金町 271	TEL 0561-85-7355
株式会社 松本義肢製作所 〒 485-0805 愛知県小牧市大字林 210 - 3	TEL 0568-47-1701
学校法人誠広学園 平成医療短期大学 〒 501-1131 岐阜県岐阜市黒野 180	TEL 058-234-3324
中部学院大学 〒 501-3993 岐阜県関市桐ヶ丘 2 丁目 1 番地	TEL 0575-24-2211

編集後記

~~~~~

らいちょう 127 号作成に当たり、巻頭文・会員の声の原稿依頼を快諾して、ご協力下さいました、岸本泰樹氏、伊藤和記氏、織田朝己氏、佐々木初音氏、鳥居沙葵氏に感謝致します。この場を借りて、お礼申し上げます。

11 月になり、今年も残りわずか 2 ヶ月になってきました。時間が過ぎるのは本当に早いものです。4 月に新入職員として働き始めた私ですが、あっという間に時が過ぎてしまうものです。

紅葉が美しい季節になりましたが、気温が急激に変わって体調を崩しやすい人もいます。『病は気から』という言葉聞いたことがあると思います。気の緩みが風邪を引き起こす原因の一つ。今年の冬は特に寒くなると聞きますので、体調管理だけはしっかりと、仕事に支障がないように毎日を頑張って過ごしていただきたいと思います。(K)

~~~~~

公告掲載のご案内

士会ニュース公告掲載のお問い合わせ・申し込みにつきましては
広報部までお願いいたします。

広報部

〒 503-2417 揖斐郡池田町本郷 1551-1

医療法人社団橘会 新生病院

リハビリテーション科 伊藤康行

TEL.0585-45-3161 FAX.0585-45-3255

E-mail : shinsei4@octn.jp

~~~~~

2018. 11. 19

発行人：公益社団法人 岐阜県理学療法士会

会長 舟 木 一 夫

事務局：〒 500-8384 岐阜市藪田南1丁目 11 番 12 号

岐阜水産会館 601 号室

TEL・FAX (058) 277 - 6166

編 集：伊藤康行

印刷所：(有)いすくら

~~~~~